

仙台高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	知的財産概論		
科目基礎情報								
科目番号	0042			科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科	マテリアル環境コース			対象学年	5			
開設期	1st-Q			週時間数	2			
教科書/教材	作成資料など							
担当教員	吉川 まゆみ							
到達目標								
産業に寄与できる工業技術を学ぶ視点から、知的財産権を理解し、自ら今後に役立てる。								
ルーブリック								
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1 知財・特許・広報の関連事項			論理的に説明できる。	理解できる。		理解が不足している。		
評価項目2 発明の捉え方と書き方			論理的に説明できる。	理解できる。		理解が不足している。		
評価項目3 著作権・不正競争防止法			論理的に説明できる。	理解できる。		理解が不足している。		
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要	この科目は特許商標事務所での知的財産の権利化・調査・保護に関する業務を担当している教員が、その経験を活かし、知的財産に関して講義形式で授業を行うものである。 工業系高等専門学校における知財の活用能力を発展させ、知的想像力の育成、ものづくり活動や専門分野の技術・技能習得を通じて、工夫改善、知的財産権への意欲・関心を高めていく。また、ものづくりにおけるアイデアや思い付きを、具体的な知的財産権に結び付けるトレーニングを行う。							
授業の進め方・方法	講義と演習を組み合わせで行う。 予習：毎回の授業前までに、授業で行う内容と意義を 考えて整理しておくこと。 復習：毎回の授業後に、授業で学んだことを振り返り、今後へ活かす方法を考えること。課題に取り組むこと。							
注意点	知的財産権が、産業上どれだけ重要な位置を占めているかを理解する。また、日頃の「ものづくり」に関する授業において見出される発明を、具体的な知的財産権として出願する体験を試みる。 書名：産業財産権標準テキスト：総合編、特許編 編集：（独）工業所有権情報 発行所：研修館 書名：知的財産教育教本 発行所：山口大学（H 2 2 発行） 書名：書いてみよう特許明細書出してみよう特許出願 編集：（独）工業所有権情報 発行所：研修館 書名：特許電子図書館サービス利用マニュアル 編集：（独）工業所有権情報 発行所：研修館							
授業の属性・履修上の区分								
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業		
授業計画								
		週	授業内容		週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンス		知的財産について、必要性を理解する。			
		2週	知的財産の概要		知的財産の歴史、知的財産制度の概要を理解できる。			
		3週	特許の概要		特許要件、特許出願から権利化までを理解できる。			
		4週	広報の読み方		先行技術を読む必要性・有効性、請求項の読み方・請求項の種類・解釈の仕方を理解できる。			
		5週	発明の捉え方		発明の一般的な流れ、先行技術の有効性、事例、発明の展開例を理解できる。			
		6週	発明の書き方（1）		書く際における先行技術の必要性・有効性 I P D L の検索体系、分類記号とテキストによる検索を理解できる。			
		7週	発明の書き方（2）		書く際（実際はチェックする際）の留意事項を理解できる。			
		8週	著作権・不正競争防止法		著作権・不正競争防止法に関する一般的知識を理解できる。			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合								
	演習	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100	
基礎的能力	20	20	0	0	0	0	40	
専門的能力	20	20	0	0	0	0	40	
分野横断的能力	10	10	0	0	0	0	20	